

向島の催し、ニュースは  
愛隣館研修センターへお  
知らせ下さい。

# 向島・愛隣館研修センター ニュース

社会福祉法人イエス団  
愛隣館研修センター  
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151  
TEL 621-3849  
FAX 621-1579  
発行 平田 義  
編集 集 恵 大一郎

# センター開設10周年！

## これからもよろしく願いいたします



生活センター設置を目指しての学習会

愛隣館研修センターがこの十年がたちました。この間多くの人が支えられ、また暖かい目で見守られて、ようやく、よちよちと歩き始めております。

地域に住むあらゆる人々が利用できる、又、「障害」を持つ者も、そうでない者も共に集い、出会える場としての働きを微力ながら続けてまいりました。その歩みの中で、私たちの取り組みべき課題が、少しずつ見えてきたように思えます。

当センターの一階部分には障害児の通園施設の空の鳥幼児園があり、また、市営住宅の各棟には車椅子専用住宅もあることから障害児・者の問題が、まず取り組みべき課題の一つに挙げられるでしょう。また、一人暮らしの老人の問題や、子供たちの教育の問題等も、取り組みべき課題であるといえるでしょう。



それらの課題に関わる具体的な手立てとして、現在、障害者や老人らが自由に集い、交わる場として、生活センターの設置に向けての取り組みを始めております。今後ともご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

そこで今号では、当センターを利用されて活動されておられる、様々な個人、グループの方々を紹介させて頂くことにより、当センターのこれまでの歩みと、現在とをご理解していただければと考えております。興味のある活動や、ご意見がございましたらご連絡ください。（主事・平田）

今、文庫には、すみっこにうずくまって絵本に見入る子供、ソファにもたれて漫画を読みふける子、Bブロックや大きいボールで遊ぶ子たち、それに、お茶菓子をつまみながらおしゃべりを楽しむお母さんたちが来ています。

でも、ほんこには絵本や漫画だけでなく物語や高学年向けの読み物もたくさんあります。毎月、第三金曜日には映画会もしています。あいりんかんの2階に遊びに来てね。



修センターなど、地域に遊びの場を得ることが出来て感謝です。これからも、地域の人と関わり、子供と共に学び合いたいと思っております。

また、子供と一緒に遊んでくださるボランティアを募集しています。是非一度遊びにきてください。待っています。



向島近辺に住む「障害」を持つ子供達と、その親たちで作る「向島あそぼう会」は、リズム遊びやキャンプ・ハイキングを通して、遊びの乏しい子供達の成長を促すことを期待して活動しています。

野の百合幼児園ホールや研

あそぼう会

# 教会学校

当センターには、土曜学校、日曜学校、月曜学校と三つの教会学校があります。土曜学校は土曜日の午後二時から三時までで、四歳、小学二年生までの子供が集い、日曜学校は日曜日の午前九時から半までで小学三年生、中学生を対象としています。最後の月曜学校は、三歳児が中心で、月曜朝の十時〜十一時までです。

どの教会学校でも、教師と子供と一緒に遊んで聖書を学び、元気よく遊んでいます。興味のある方は、是非一度のぞきに來てください。お待ちしております。



楽しいキャンプ

## 向島差別と人権を考える会



昨年の第四回はんてん祭りより

“この一年の歩み”  
 昨年一月七日の「昭和」天  
 皇ヒロヒトの死去以後、新天  
 皇アキヒトの即位の礼・大嘗  
 祭等、官民あげての天皇礼賛

キャンペーンが繰り広げられてい  
 る。又、この四月から学校行事で  
 の「日の丸・君が代」が義務化されよう  
 としている。私達は、このような日本社会  
 の右傾化・反動化に反対し、地域のなか  
 で取組を進めてきた。特にこの一年間、  
 向島という地域だけにどまらず、伏見の  
 教育を考える会と共に、「日の丸・君が代」  
 の強制に反対する取組など、より広く  
 伏見地域の人が達と取組をし、その輪が  
 広がっている。今年も、秋の天皇の即位式・  
 大嘗祭に焦点を合わせ、第五回向島はんてん  
 祭りを始め、学校での「日の丸・君が代」  
 強制をはじめとする、教育の反動化と闘い、  
 地域での様々な立場の人々と共に生きてい  
 ける社会を目指したいと思いま

# ☀️ぜひ一度おこし下さい☀️

## おばさん体操クラブ



トとはわけが違う。来るべき高齢化社会において心身共に生き生きと働ける人材を育成しているのであるぞよ。休日にはTVのお守りをもつばらにしている宿六族が、その内ヨレヨレになっても知らないからね。

トとはわけが違う。来るべき高齢化社会において心身共に生き生きと働ける人材を育成しているのであるぞよ。休日にはTVのお守りをもつばらにしている宿六族が、その内ヨレヨレになっても知らないからね。

○・T・C、すなわち「おばさん体操クラブ」の宣伝を、また少しさせていたたく。愛隣館のホールを拝借してクラブを始めてからすでに有余年リーターのN夫人のご指導よろしきを得て、益々活発に楽しい汗を流している。筆者も

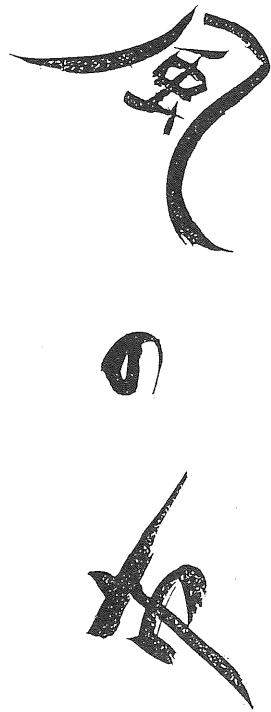
既に六年生という大ベテランとなるが、丸々とふくよかな姿は相変わらず。我が宿六が「○・T・C」も効果はもうひとつだなあ。などとほざく。フンこの浅薄者めが。我が○・T・Cの目的は、今流行のうすっぺらなダイエット

## 海外教育協力隊 (JERV)



向島唯一の民間国際協力団体で、どなたでも奉仕に参加できます。「字の読み書きは自己表現の基本的手段の一つであり、教育文化の向上と基本的人権の確保の基礎である」と推定と国内開発教育の普及（教育の国際化）を目指しています。ネパールでは学校建設や識字学級開講を支援。向島では、無料日本語教室を開講。第三世界の貧困や人権問題を構造的に理解する会も開催しています。

昨年四月より、毎月第三土曜日に研修センターにて向島フリーマーケット「風の市」を開いています。色々な人が集まり、にぎやかに食べたり語ったりしました。季節が一



巡りして四月から「風の市」も衣替えをします。向島を楽しい生活の場にと、より多くの人に研修センターに足を運んで頂き、交流

をするためのイベントを企画してまいります。開催は、年四回くらいで、講演会・実技講習会等を考えてほしいこと等ありましたら、

左記までご連絡ください。  
パン屋・玉屋 六二一―八〇六三  
八百屋・ばんぶきん 六一一―七五四七

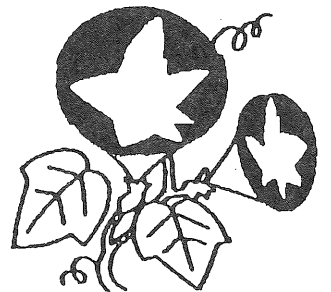
# 先生のおふの健康教室

武澤信夫(医師)

春になると、アレルギー性鼻炎やアレルギー性結膜炎等に悩まされる人が増えてきます。また、近年、アトピー性皮膚炎、気管支喘息等のアレルギー疾患も急増しています。アレルギー性疾患の治療法としては、二つの考え方があります。

一般的考え方、アレルギー性疾患の治療法として、二つの考え方があります。その一は、アレルギー性疾患の原因となる物質を避けることです。その二は、アレルギー性疾患の症状を抑えることです。アレルギー性疾患の治療法として、二つの考え方があります。その一は、アレルギー性疾患の原因となる物質を避けることです。その二は、アレルギー性疾患の症状を抑えることです。

## センターの活動を支えていただき どうもありがとうございます



### 1989年度 賛助会会員の皆様

一九八九年度の愛隣館研修センター賛助会会員をお知らせいたします。個人・団体合わせて計百十四名の方々、合計百一十六千六百円です。台所事情は苦しいですが、こうして皆さんに支えられて活動を続けております。エレベーターの設置や、生活センターの増設等、課題は多いですが、これからも皆さんに支えて頂き、頑張っていきたいと思っております。

- 感謝をもってお名前を記させていただきます。これからどうぞ宜しくお願いいたします。
- (順不同、敬称略)
- 武澤直子・高橋幸子・近藤政一・広瀬悦子・作野毅子・上田圭子・君村千代子・山本忠義・法子・江藤淑子・森弘・玉井勝也・石原和代・日浦純子・太田和代・野村恵子・坂田幸作・恵ヒロ子・松野正信・清美・金子町子・下岡一夫・愛子・川越由美・高下恭子・石山愛子・後宮松代・木村淳子・山下維久子・酒井登茂代・高橋由記・引原勝美・笹井健匡・谷口あさ子・林栄子・島澤和子・三谷昭子・森美佐子・前家直和・吉田善信・太田一せつ・佐伯昌祥・中村敏一・三好博・勝山久仁子・兵藤みや子・水野清一・西田和可子・藤井千賀子・斎恵子・松島さかえ・小柳まど・堺美津子・松下捷利・宇野豊・木村アサ・小池敬子・飯峯明・緒方幸・榎本和子・横野朝彦・西山幸江・滝村愛子・倉田妙子・志賀勉・田中芳三・小柳伸頭・福井達雨・平田真貴子・府上征三・シユベネマンIIクラウス・阪田吾郎・宇山進・大谷和功・小西望・森孝一・草刈明子・伊藤晴満・草野明子・黒多健・神谷幸子・遠藤浩・恵子・杉原輝明・田村早千枝・伊藤義清・朴実・石田正弘・鳥羽彰子・木村量好
  - 京都教会・大津教会・松山教会・錦林教会・紫野教会・西陣市民センター・丸太町教会・八頭教会・八幡ぶどうの木教会・洛北教会・京都YMCA伏見桃山センター・同志社女子大学宗教部・一麦保育園・近江兄弟社学園宗教部・止揚学園・神崎川教会・大住世光教会・洛陽教会・宇治教会教会学校・扇町教会・向島あそぼう会・南山城伝道協議会

連載第4回

柏木正行

# ぼくが調べた 向島の歴史

古代、向島の姿は、巨椋池と呼ばれる巨大な遊水池でした。山城地方の開発を手がけた渡来人の優れた土木・建築技術によつて、この巨椋池周辺もどんどん開発が進み、人々が定住する

前号までのあらすじ

ようになつていきました。また、巨椋池は、桂川・宇治川・木津川との合流点にあたるため水上交通の要所となり、人や物の中継地として賑わいました。

## 山城国一揆

さて、山城の歴史を語る際、どうしても忘れてはならないのは、一四八五年（文明十七年）、この地に発生した世に云う山城国一揆でしょう。この一揆は南山城の国人・地頭で、当時この辺りを支配していた豪族、畠山一族の内部抗争に対する抗議と反乱だったと私は考えています。

## 八年間の自治体制

応仁の乱によつて、この南山城一帯は、畠山政長と同儀成とが相争う戦場になりました。そうした状況下、在地士豪（国衆）は、宇治の平等院で集会を開き、両軍の撤退や新関設立の停止等を決議しました。それ以後、彼らは三十六人衆と呼ばれる指導者の下八年間に渡つて自治体制を維持したのです。それは守護大名同士の対立に乗じ、荘園領主の支配を全うするという名目の下での、反体制運動ではなかつたでしょうか。しかし、当時としては画期的とも云えるこの出来事も、他の地域に波及するまでには至らず、国一揆自体も、次第に内部対立が生じ、一四九三年（明応二年）九月には沈静化

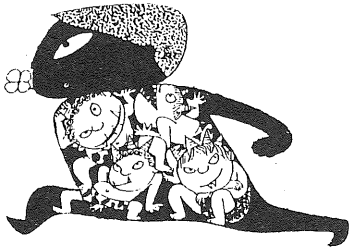
し、山城解放の夢は、朝露のごとく消えたのでした。この文章は、山城国一揆のてんまつを語るのが目的ではありません。すでに多くのすぐれた研究が成されていっていると思えます。只、私としては、今から五百年近く前、この山城の地に、そうしたラジカルな運動があった史実を心の隅に留めたいと思うのです。

## 本・ぼん・ほん

向島在住の二人の障害者の方が、最近そろつて本を出版されました。

「路」 柏木正行著

「骨食い太郎」 松下捷利著

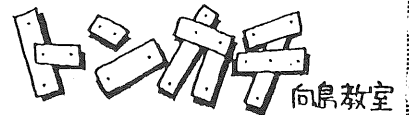


「骨食い太郎」の挿絵

一つは、この新聞の「ぼくが調べた向島の歴史」を執筆しておられる柏木正行さんの詩集「路」。自立生活十年の著者が、障害者の視点で社会を見つめ、自分の思いを詩に託して綴つておられます。もうひとつは、「骨溶解性血管腫」という骨の溶ける病気に闘つておられる、松下捷利（かつとし）さんの闘病記「骨食い太郎」です。自らの闘病生活を童話風にまとめた、病床にあつても、生きることの積極的な意味を見つける大切さを訴えかけておられます。尚、この病気は、世界でも十例程しか報告されておらず、日本では松下さんだけだそう

です。柏木さんの「路」は明石書店より二千五百八十円で、松下さんの「骨食い太郎」はミネルヴァ書房より千五百円で出版されています。皆さん是非お読みください。

## 工作教室



★自分で作る楽しさを体験  
何でもない木切れが自分たちの手で、おもちゃに変わっていくとき、買ったもので遊ぶだけでは味わえない「何か」を、子供達は味わうことでしょう。

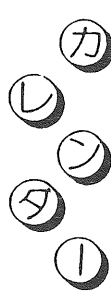
★どんなものを作りますか  
たこ、こま、竹馬、竹とんぼ、飛行機、ヨーヨー、水鉄砲、ゲームなどなど、いろいろな楽しいものを作ります。

## ★要項

- 日時：毎週火曜日 PM2時～4時 年長幼児、小学1,2,3年 PM3時～5時 小学4,5,6年
- 場所：当センター（☎621-3849）
- 月謝：4000円 + 材料費…幼～小3は500円 小4～6は1000円
- （兄弟割引 + 一人につき500円引き）
- 指導：松島洋一

（元中学校美術教諭。現在木の玩具デザインを本業とする。日本おもちゃ協会会員。日本おもちゃデザイナー協会会員。）

連絡先：伏見区桃山町伊賀67-1 桃山伊賀団地1-209 ☎621-4088 又は、当センターまで



◇キャンパス◇  
土曜学校（一・二年生）：  
八月一日、二日、場所、京都  
市左京区・久多キャンパス場  
日曜学校：八月十三日、十  
五日、場所、京都市左京区  
「百井青少年村キャンパス場」  
遊ぼう会：八月十六日、十  
八日、場所、滋賀県安曇川町  
「京都新聞ふれあいハウス」  
※大自然の中で、思いつき  
り楽しみたい人は、考えていま  
す。参加したい人は、センタ  
ーまでご連絡を！  
◇夏休館日◇  
八月十三日より十八日まで  
その間、キャンパスに出掛けて  
おります。  
皆さん暑さに負けず、元氣  
で頑張ってください。